

五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備推進協議会
平成26年度 第1回検討委員会議事録

日 時：平成26年10月2日(木) 午後2時～午後4時

会 場：五泉地域衛生施設組合 大会議室

出席者（敬称略）

委 員：吉田新平、小柳隆、鈴木良民、神田隆一、矢部秋子、武藤浩行、佐藤喜代治、渡邊景子、浅間信一、樋熊征夫、清水常義、佐藤東市、植木誠、清野政勝、猪俣誠一、中野敬一、阿部信裕、星義孝、波田野貞夫、黒野弘靖、町田俊夫、杉山信二、関川嗣雄、渡部学、皆川秀男（委員27名中25名の出席）

事務局：清野室長、風間係長、肥田主任、土屋主任、松田主事

関係者：八千代エンジニアリング(株)から3名

議 題：1. 委員長・副委員長の選出について
2. これまでの取り組み経過
3. 一般廃棄物処理広域化実施計画（案）について
4. 今後のスケジュールについて
5. その他
○五泉地域衛生施設組合ごみ焼却場見学

議事進行

1. 開会

本日の会議は録音し、議事録を作成して、当組合のホームページ等への掲載を予定していること。また、会議の記録写真の撮影も合わせてお願いしたい旨を説明し、出席委員から了解を得る。

2. あいさつ 理事者 阿賀町長 神田敏郎

3. 自己紹介 委員ならびに事務局より自己紹介

4. 議事

(1) 委員長・副委員長の選出について

事務局

委員長が決まるまでの間、事務局で進行させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～「異議なし」の声～

それでは事務局で進行いたします。検討委員会設置要綱第5条に、委員長1人、副委員長3人を委員の互選により定めるとあります。いかがしたらよろしいでしょうか。

委員

今回は初顔合わせのため委員同士では選べない。事務局から選出してもらいたい。

～「異議なし」の声～

事務局

それでは、委員長は黒野弘靖委員に、副委員長は小柳隆委員、佐藤喜代治委員、猪俣誠一委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

～「異議なし」の声～

異議なしということですので、そのように決定させていただきます。

以降は、検討委員会設置要綱第6条により、黒野委員長を議長として進行をお願いいたします。

委員長

それでは、(2)これまでの取り組み経過について、事務局より説明願います。

(2) これまでの取り組み経過

事務局

配布資料の一般廃棄物処理施設広域化の基本構想について（最終報告書）により説明。

委員長

ただ今の説明について、質問や意見がありましたら、挙手していただき、名前を述べてから発言してください。

委員

質問ではありませんが、私個人の要望として、本日配布された資料などは、あらかじめ目を通していなければ質問なども出来ないため、事前に資料を送付していただきたい。

委員長

事務局では次回以降の会議から、事前に資料を準備できますか。

事務局

はい、わかりました。そのように対応いたします。

委員長

他にありませんか。

それでは、(3)一般廃棄物処理広域化実施計画(案)について、事務局より説明願います。

(3) 一般廃棄物処理広域化実施計画(案)について

事務局

配布資料の五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理広域化実施計画(案) [概要版]により説明。

委員

ごみ処理の広域化のメリット・デメリットをきちんとまとめているので、このとおりだということは理解できますが、現状、実施計画案として出されていますが、ごみの減量化に対する対策をどうしていくのか。そういうデメリットの問題の克服が入った実施計画案だと思うし、今後はそれに対する対応をどうしていくのか。

事務局

今のところは、各市町の現状と課題を把握する段階ですが、これから12月以降にごみ減量化のことなどについて、検討委員会の皆さんと話し合って詰めていただく予定ですので宜しくお願いします。

委員

「リサイクルの合理化」と「サーマルリサイクル」について教えてください。

事務局

リサイクルの合理化は、今まで各市町の施設で分散してリサイクル処理していたものを、一つにまとめることでコストを縮減できるということです。

また、サーマルリサイクルとはごみ処理発電や予熱利用のことをいいます。

委員

この実施計画案を考える上で大事なのは、人口の推移だと思います。10年後に施設が建設された時点の五泉市・阿賀野市・阿賀町の将来の人口予測を考えに入れていただくのが必要です。そうでなければ300t/日の炉が…という話にはなりません。

事務局

まず300t/日の炉というのは、あくまで国や県の指針でありまして、それぐらいの規模が望ましいということで、今後の広域化計画の施設規模ではありません。

また、今後の将来人口の推計については以降の会議でお示しし、検討する予定です。

委員

この広域化をやることによって各自治体の負担コストがそれぞれ変わってくるわけですが、それも推移の中で見ていただきたいのですが、いかがですか。

事務局

広域や単独で施設を建設した場合の概算コストのことでしょうか。

(委員からランニングコストのことであることを確認し) 今後、条件や数値がまとまり次第、報告いたします。

委員

着工までなぜ10年なのか。その根拠を示していただきたい。

事務局

一般廃棄物処理施設広域化の基本構想について（最終報告書）の13頁をご覧ください。スケジュールとして、供用開始が10年後の平成35年ということです。

委員長

他にありませんか。

それでは、(4)今後のスケジュールについて、事務局より説明願います。

(4) 今後のスケジュールについて

事務局

配布資料の五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備推進協議会検討委員会スケジュール（予定）により説明。

委員

施設の完成までの間に、各市町の地域住民にこれらの情報の開示や、アンケートなどによる意見の集約をする計画はありますか。

事務局

今回の検討委員会の進捗状況も随時、当組合のホームページに公開しますし、内容によっては各市町で戸別配布させていただくことも考えています。

委員

今回、先進地視察で三条市清掃センターを選んだ理由は何ですか。協議会で、新潟市新田清掃センターも視察をしているようですし。また、鎧瀉クリーンセンターの溶融炉なども、ぜひ検討委員会の皆さんに知っていただきたいと思う。

事務局

三条市清掃センターについては、本地域で広域化をした場合の人口規模が同程度であったからです。鎧瀉クリーンセンターについては、来年度も視察の予定がありますので、そちらでの検討とします。

委員長

他にありませんか。

それでは、次に(5)その他について、事務局よりお願いします。

(5) その他

事務局

本日、このほかに事務局で用意した議案はありません。

委員長

それでは、今日の予定していた議題を終了します。進行を事務局にお返しします。

事務局

黒野委員長ありがとうございました。委員の皆様からもご意見をいただきありがとうございました。

それでは、施設見学に移りますが、見学後にそのまま解散となりますので、会議資料やお荷物を持って移動をお願いします。

5. 施設見学

○五泉地域衛生施設組合ごみ焼却場

6. 閉会